

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和8年2月号 No.225

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和8年新年名刺交換会が盛大に開催

令和8年1月6日(火)午後5時から名古屋市東区のホテルメルパルク名古屋「瑞雲の間」において、日本合板商業組合中部日本支部、名古屋建材商社会、名古屋木材組合、中日本合板工業組合の木材、建材関係4団体共催により新年名刺交換会が、来賓、組合員関係者等470名余の参加を得て盛大に開催された。

冒頭の主催者挨拶で名古屋木材組合 西垣洋一組合長は「今年の干支は丙午、燃えるような情熱と勢いよく駆け上がる力を象徴する年。経済はデフレからインフレへと変化する中で、今年最大の課題は価格転嫁。18年前に『安売りの五大弊害』という文章を書いたが、資材高騰による価格騰勢が続く中、今なお木材業界は取り残されている。厳しい状況が続く中だが、多様化、多角化を進め、持っている機能を付け加えながら『木造化、木質ソリューション』の新たな段階に入っていきべき。脱炭素時代の中、唯一の再生資源である木材の利点を生かし循環経済に貢献して行こう」と呼びかけた。



西垣洋一 名古屋木材組合組合長



山口善基 SMB建材(株)代表取締役社長執行役員

続いて、主催者として名古屋建材商社会 山口善基 SMB建材(株)代表取締役社長執行役員から「昨年は殻を破り、安定成長へと進む年だとされた。女性初の首相誕生、株価5万円台乗せ、大阪・関西万博や多くの資本提携など、これまでの枠組みから脱する動きが目立った。一方業界は住宅建設低迷や規模縮小から厳しい年だった。今年は住宅建設は厳しさが残るが、非住宅、リフォーム需要や海外市場などに期待できる。業界再編は必須。業界一丸となって変化に対応していこう」と挨拶があった。

来賓ではご多忙の中、本年も駆けつけていただいた大村秀章愛知県知事から新年の挨拶があり、併せて小坂善太郎林野庁長官からのメッセージが披露された。



大村秀章 愛知県知事

その後、日本合板商業組合中部日本支部 吉田達弘副支部長による乾杯の音頭で新年にふさわしい賑やかな祝宴となった。

最後に中締めとして日本合板工業組合 内藤和行理事長により、業界のますますの発展とご参加の皆様の健勝を祈念して、万歳三唱で会を終了した。



佐塚こころ
2025ミス日本みどりの大使

尚、当日会場にてお願いしました「緑の募金」は総額80,443円集まりました。皆様のご協力ありがとうございました。

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

名古屋港西部地区の諸問題の解決のために名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会と飛鳥村、名古屋港管理組合・蟹江警察署等及び弥富市と懇談会を開催

名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会（会長：服部伸一木産協理事長）は、令和7年12月12日に、名古屋港西部臨海地帯における諸問題について飛鳥村臨港地区協議会（飛鳥村、名古屋港管理組合、蟹江警察署、名古屋国道事務所等で構成）と懇談しました。

飛鳥村への要望

● 飛鳥村ゴミポストをシェルター型の容器に変更して欲しい。名古屋港団地倉庫の敷地にあるゴミポストを南側の管理組合用地に変更してほしい。流通団地のゴミポストを各倉庫付近ではなく、例えば公園付近に変更してほしい。

(回答)

設置場所について道路管理者である名古屋港管理組合と協議した結果、管理組合や公園への移設は許可できないとの回答でした。また、造船団地や流通センターにあるゴミポストを廃止し、集積場所を公民館分館前に集約し、フェンスで囲って飛散防止対策を講じます。

● 飛鳥地区への交通の便が悪い。働きやすい環境をバス以外でも是非検討してほしい。

(回答)

臨海工業地帯に立地する企業の皆さまにとって働きやすい環境を整備するため、飛鳥公共交通バスのダイヤを改正しました。蟹江線の臨海部經由便を朝1便、夕方2便増便しました。また、名港線については、循環系統を復活することで、昼間の時間帯でも1時間に1便の運行を確保しました。

蟹江警察署への要望

● 特に夜間21時から国道302号線木場1丁目交差点周辺において10台ほどのドリフト走行が行われており騒音などにより大変迷惑している。取り締まってほしい。

(回答)

11月に大きな取締りを実施しました。12月は例年多くドリフト走行する車両が15台、ギャラリーが200台ほどいましたが、現在は10台以下になっています。ギャラリーには車好きの人もいますが、検挙されれば職を失う恐れがあるということで、大幅に減少しました。名古屋国道事務所にポストコーンを40本設置していただき、現在はドリフト走行ができない状態になりました。物理的対策ができる場所はポストコーン設置を進めていきたいと思えます。

● 臨港地帯一帯において常態的に大型車両が路上駐車されていることにより、車両運転時に危険を感じる。違法な路上駐車を取り締まり強化や路上駐車を控えるよう注意喚起の実施をお願いしたい。

(回答)

道幅の広い港湾道路の中には、ガードレールを設置し路上駐車できないような対策をしている道路もありますが、3車線のうち1車線に駐車するということが常態化しています。その対策にはポストコーン設置等、物理的な対策が有効ですが、トラックドライバーを締め出すことになってしまいます。本来であればトラックを一時的に駐車できるスペースを確保すべきですが、このような路上駐車を削減するためには物理的な対策が一番有効だと考えます。皆さまにご迷惑とならないよう警察署で対応してまいりますので、よろしくお願いたします。

名古屋国道事務所への要望

● 帰宅時間帯に国道302号線の梅之郷交差点から名古屋方面への道路が、名古屋環状2号線が完成してからも渋滞している。4車線化の工事を進めて欲しい。

(回答)

国道302号線の4車線化については私共も4車線化を実現したいと思っています。予算が縮小する中でも4車線化を早期に実現してほしいと、愛知国道事務所に要望しているところです。部分的にできているところがありますが、部分的に開通すると、車両が輻輳し事故が多発する恐れがあるため、渋滞は発生しますが現在のままご協力をいただくこととなります。



◆ 合縁木縁 ◆

「新春の参拝」

2026年の幕開け、1月2日に愛知県豊川市の「豊川稲荷（妙厳寺）」を訪れました。商売繁盛や家内安全を願う人々で賑わう新春の参拝ですが、今年は例年以上の熱気に包まれていました。

豊川稲荷は、日本三大稲荷の一つに数えられる名刹です。例年、正月三が日の参拝者数は全国屈指の規模を誇り、合計で約130万人から150万人もの人々が訪れます。特に1月2日は、元日の混雑を避けた参拝客や仕事始めを控えた経営者らが集中するため、一年で最も賑わう日の一つと言えます。

今回、私は自動車での参拝に向かいましたが、現地に着する前から凄まじい渋滞に直面しました。豊川IC付近から市街地へ向かう道路は完全に「巨大な駐車場」と化しており、最終的に車を停めるまでに4時間という長い時間を費やすことになりました。

これほどの混雑が生じる背景には、豊川稲荷特有の立地と人気があります。境内には約1,000体の石狐が並ぶ「霊狐塚」などの強力なパワースポットがあり、その御利益を求めて遠方から多くのドライバーが集まります。市営駐車場や臨時駐車場もフル稼働していますが、三が日の圧倒的な人出に対して、道路の収容能力が限界を超えてしまうのです。

4時間の待機時間は決して楽ではありませんでしたが、車窓から見える門前町の活気や、ようやく車を降りて目に飛び込んできた大鳥居の荘厳な姿には、その疲れを忘れさせるほどの感動がありました。参道に漂う名物「豊川いなり寿司」の甘い香りに誘われながら、新年の決意を新たにすることができました。

2026年の豊川稲荷参拝は、忍耐の先にある大きな達成感を感じるものとなりました。もし今後、三が日に自動車での参拝を計画される方がいれば、早朝や夜間の移動を検討するか、あるいは公共交通機関の利用を強くお勧めします。しかし、あの賑わいの中に身を置くことこそが、新春の訪れを実感させてくれる豊川稲荷ならではの醍醐味なのかもしれません。

今回は、丸五木材株式会社 内藤 慎亮氏にお願いします。

木場すずめ

「ミステリのすすめ」

私はミステリ＝推理小説が好きです。小学生の頃に触れた「三毛猫ホームズ」に始まり、40年くらい読み続けてきました。直近では「六人の嘘つきな大学生」を読みました。

ミステリの歴史を調べてみると、世界初は1841年の「モルグ街の殺人」（エドガー・アラン・ポー）、日本初は1889年の「無惨」（黒岩涙香）と言われています。200年近い歴史の中で様々なジャンルが生まれ出されてきました。日本では90年代に「理系ミステリ」というジャンルが生まれました。代表格は「すべてがFになる」（森博嗣）、「探偵ガリレオシリーズ」（東野圭吾）です。2000年代には「半落ち」（横山秀夫）を代表とする「警察ミステリ」や、海堂尊や知念実希人の「医療ミステリ」、池井戸潤や江上剛の「金融ミステリ」が流行しました。2010年代では「屍人荘の殺人」（今村昌弘）のようなホラー要素の強いものなどが人気を集めました。

さて、私が特におすすめしたい作家は宮部みゆきで、作品では少し古いですが「火車」がイチオシです。未読の方はぜひお試しください。彼女はミステリだけでなく時代小説やファンタジーなども多く手掛け、本当に多才だと思います。東野圭吾は、押しも押されぬ大御所としてヒット作を連発しています。映画化もされた「容疑者Xの献身」は直木賞を受賞しました。トリックだけでなく人間ドラマとしての魅力が高いのも、映画化されることが多い理由だと思います。私が二人の作家に共通していると感じるのは「頭に映像が浮かんできやすい」文章であることです。宮部みゆきは特に読みやすく、登場人物の感情が丁寧に描写されていることも特徴です。

映画化される作品は気軽に短時間で楽しむことができますが、映像化が難しい「叙述トリック」と呼ばれるジャンルもおすすめです。「十角館の殺人」（綾辻行人）が代表格です。この作品は映像化不可能と言われながら、昨年コミカライズされて話題となりました。トリックに気づいて「騙された！」と膝を打つのは小説ならではの楽しみです。皆様もお休みの日など、ミステリ片手に過ごしてみたいはいかがでしょうか。

防災意識向上に向けた取り組み (KIBOU【木防】プロジェクト)

名古屋港木材産業協同組合は令和8年1月23日、名古屋港臨海部に立地する組合員事業所の防災意識向上を目的として飛島村と連携し、飛島村主催の出前講座を(株)名古屋港木材会館にて開催しました(参加 16社21名)。講座では、地域特性(名古屋港西部臨海地帯)を踏まえた実践的な防災知識・対応力の向上という内容で、防災の観点からみる飛島村の特性について(臨海部)解説されました。参加者からは「防災について考えるよい機会となりました。」「液状化への対応の必要性を痛感させられました。」などの声が寄せられました。今後は弥富市エリアでの出前講座を予定しております。



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

自転車を止めたらツーロックを！

自転車の盗難が増加しています。無施錠の自転車を犯人は狙っています。自転車で元々ついている鍵だけかけるのではなく、U字ロックやワイヤー錠等でツーロックして、自転車をドロボウから守りましょう。

また駐輪場を選ぶ時には、防犯カメラやセンサーライトが設置され、管理人が在駐している監視が行き届いた駐輪場を利用しましょう。

【わずかな時間でも自転車には必ずツーロックを！】

【自宅敷地内や屋内の駐輪場でも油断禁物！】

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

Technology for Clean Air & Bulk Handling

INOUE

集塵装置の省電力・安全
木質バイオマスの利活用

ご提案します!!

快適な環境づくりに取り組む

井上電設株式会社

〒460-0022 名古屋市中区金山4丁目3-17

052-322-5271 <https://www.inoue-d.co.jp>

世界初!

100%リサイクルせっこうボード

チヨダセキュラーせっこうボード

CHIYODA CIRCULAR BOARD

廃せっこうボードから作られたリサイクル石膏を100%使用し、製造時のカーボンニュートラルを実現しました。

- 廃せっこうボードを100%原料に使用
- 製造時のカーボンニュートラル
- 従来製品と同じ高い耐火性能

共に積み、明日を創る。

CHIYODA VISION ZERO

チヨダウー

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部伸一
 〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会